

地域の居場所はワクワクに出会える場所

—地域食堂・こども食堂—

現在、地域食堂（こども食堂）は市内各所で多くの民間団体により運営されています。地域食堂は食事の提供だけではなく、地域の中で多世代交流やつながりを育む場となっており、本市では地域食堂・こども食堂をこどもの健やかな成長や地域の大人の生活の豊かさにつながる地域の居場所と捉え、充実を推進しています。

この特集では、地域の居場所の中から2団体の活動についてご紹介します。

■問合せ／こども家庭課企画担当 ☎ 27- 7550

フェリーチェの会 こども食堂

～こどもの「やってみたい」を大切にしたい、「こども会」のような場所づくり～

フェリーチェの会では、山形大学や米沢栄養大学などの学生ボランティアが約 80 人活動しています。

《——ある日の様子》

みんなでモルックで遊びウォーミングアップをしてから、ご飯作りを始めます。この日のメニューは「ひなちらしケーキ、ハンバーグ、茶わん蒸し、クッキー」などなど。こどもたちも大人も作りたいメニューに分かれて奮闘しました。

ひなちらしケーキを作る際には、残りの分量を気にしながらきれいにデコレーションするのに苦戦しつつも、こどもたちは一生懸命作っていました。

「すごい、上手にできたね」「いろいろがきれいだな～」

学生たちもこどもたちの興味を大切にしながら声を掛け、こどもたちのやる気を引き出していました。

食後は後片付けをして、ボール遊びやボードゲームをしました。ボードゲームはこどもも大人も関係なく誰でも一緒に遊ぶことができ、みんなで楽しむことができました。



■運営／フェリーチェの会

■主な活動日・時間帯／月 1 回・10 時～15 時

■主な活動場所／松川コミュニティセンター他

■対象／どなたでも

■料金／100 円

■連絡先／☎ 090-2458-9420（会沢）



HP はこちら

こどもが日常接する大人は、家族や学校の先生などに限られてしまうこともあると思います。そんなこどもにとって年の離れたお兄さん・お姉さんと触れ合うことは、貴重な体験になっています。

「英語を勉強しているんだよ」「じゃあ、米沢の学校の先生になって！」そんな会話が自然と飛び出します。

遊びやさまざまな活動を通して生まれる、親でも教師でもない「ななめ上の関係」は、こどもたちにとって時には夢に向かって進む先輩の姿として、時には頼りになる大人としてさまざまな刺激を与えているようです。

「あんな学生さんになりたいな」「ぼくは将来こんなこと学びたい」

学生や地域の大人と触れ合いながらいろいろな楽しい体験や活動を重ねることで、素敵な夢の種を見つけるかもしれません。

また、フェリーチェの会ではこどもたちもさまざまな学校から参加しています。月 1 回だけ遊べる友達と、学生の存在と、月ごとに変わる活動が、こどもたちの生活にワクワクをプラスしているようです。



《フェリーチェの会代表 会沢さんからのお話》

フェリーチェの会は 2016 年に発足し、私もこどもと関わることが好きなことから、その翌年から参加しています。フェリーチェの会では、家庭や学校とはまた違った「こども会」のようなイメージで、こどもがのびのびと楽しく過ごせる居場所づくりをしています。夏は流しそうめん・バーベキュー、遠出などのお楽しみもたくさんありますので、皆さんもぜひ参加してみませんか？



フェリーチェの会
会沢 哲也さん

子どもとつくる 上新田食堂

■運営／NPO 法人青空保育たけの子

■主な活動日・時間帯／月1回(第3土曜日)・11時～13時

■主な活動場所／おおぞら館(上新田1166)

■対象／地域と近隣に住むこどもから大人まで

■料金／こども(大学生含む)無料、大人300円

■連絡先／☎ 070-1143-1166(事務局)



HPはこちら



《青空保育たけの子代表 辺見さんからのお話》



青空保育たけの子
辺見 妙子さん

園児たちと月に1度給食作りをしている延長から、「子どもとつくる上新田食堂」を行っています。野菜嫌いの子でも、自分が切った野菜は不思議と食べられるみたいです。ツリーハウスもある青空保育たけの子にぜひ遊びに来てください。

～自然豊かな環境の中で、 五感を使って おもいっきり遊べる場所～

自然豊かな環境の中にある一軒家の古民家で保育施設を運営する青空保育たけの子は、月1回地域食堂を開催しています。広い庭を走り回るのはもちろん、秋にはたき火で焼き芋を作ったり、冬には雪だるま作りやそり遊びだって思い切り楽しめます。建物に1歩入るとおばあちゃんおじいちゃんが小さかった頃の日本にタイムスリップしたような、それでいて不思議と懐かしいような感覚に包まれます。

青空保育たけの子ではこどもが自然の中で豊かに遊び活動し、人として大切な五感を磨き生きる力を育み、その子らしく成長していくことを大切にしています。

《——ある日の様子》

広い和室で参加者でもある英語リトミック*講師の吉澤恭子先生とリトミック体験で体を動かした後、ご飯作りがスタートしました。メニューは「タカキビとジャガイモの煮物、サツマイモとカボチャのスープ、もちきび入りご飯、たけの子お手製の漬物」です。

ご飯を計って洗う子、芋を洗う子、サツマイモなどのかたい芋類は親御さんが初めに大きいところを切ってから、小さい子もトントンと包丁で切ります。みんなで一生懸命ご飯を作りました。

ごはんができたなら、みんなでいただきます。タカキビはお肉のような食感で、肉じゃがのような食べ応えがありました。スープは砂糖が一切入っていないのに、自然な甘さがあります。もちきび入りご飯はモチモチで、どれもとってもおいしかったです。

食後は後片付けをして、広いお庭で外遊びをします。ツリーハウスに登ったり、座って休んだり、それぞれ思い思いのひとときを過ごしました。

※音楽を通してこどもの感性や表現力を育てる教育法



ほかにもいろいろな“ワクワク”を
体験できる地域の居場所があります。
お気に入りを見つけてみては？



みんなつながるサロン

- 運営／特定非営利活動法人から・ころセンター
- 主な活動日・時間帯／月2回（第2、4土曜日）・10時～13時30分
- 主な活動場所／から・ころセンター
- 対象／どなたでも
- 料金／こども無料、大人100円
- 連絡先／☎0238-21-6436（から・ころセンター）



HPはこちら

朝ごはん食堂

- 運営／スマイルハウス
- 主な活動日・時間帯／毎週月曜日・7時30分～12時
- 主な活動場所／スマイルハウス（御廟2丁目11-10）
- 対象／どなたでも
- 料金／無料
- 連絡先／☎090-5355-0191（草苅）

米沢子ども食堂

- 運営／米沢市母子寡婦福祉連合会
- 主な活動日・時間帯／月1回（最終土曜日）・19時～20時
- 主な活動場所／すこやかセンター
- 対象／ひとり親のこどもが会で行う学習塾に参加している人
- 料金／無料
- 連絡先／☎080-9333-1018（白石）

一緒にごはんの会

- 運営／おいたま女性クラブ
- 主な活動日・時間帯／年2回（7月、11月）
- 主な活動場所／東部コミュニティセンター
- 対象／どなたでも
- 料金／100円
- 連絡先／☎090-2881-1857（成澤）

みんなの広場

- 運営／はなみずきの会（みんなの広場）
- 主な活動日・時間帯／年6回程度（土曜日）・10時～13時
- 主な活動場所／西部コミュニティセンター
- 対象／西部地区在住の人ならどなたでも
- 料金／こども100円、大人300円
- 連絡先／☎0238-23-9569（高橋）

スペースF 子ども食堂

- 運営／スペースF
- 主な活動日・時間帯／月1回程度（主に日曜日）・11時～14時
- 主な活動場所／市内コミュニティセンター
- 対象／どなたでも
- 料金／こども無料、大人300円（親子参加1組につき）
- 連絡先／☎070-8477-5420（金澤）

ゆあら元気 こども食堂

- 運営／NPO法人女性支援ネットワークゆあら
- 活動／現在活動休止中です。活動再開は市または団体のホームページ・SNSでご案内します（食料パントリーや生活支援は随時受付中です）。
- 連絡先／☎080-5229-1252（竹部）



HPはこちら

こども食堂を始めてみませんか

地域食堂・こども食堂は、人となることができ地域の居場所です。みんなと一緒に食事したり、交流をしたり、楽しい時間を共有する場所です。地域の居場所を始めてみたい場合は、右記担当までお気軽にお問い合わせください。

- こどもや地域の居場所づくりを始めたい！
 - 運営のお手伝いをしたい！
 - こども食堂へ食材を提供したい！
- 【問合せ】米沢市社会福祉協議会地域支援課 ☎22-7881
- 地域食堂・こども食堂全般に関すること
- 【問合せ】こども家庭課企画担当 ☎27-7550